

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

静脈経腸栄養ガイドライン 第3版

日本静脈経腸栄養学会 ガイドライン作成実行委員会（委員長：井上善文）
照林社、2013年5月25日 第1版第1刷発行

■1 六君子湯

疾患：

胃食道逆流

有効性に関する記載ないしその要約：

『Q5: 胃食道逆流のリスクのある患者に対する経腸栄養剤投与時の注意点は？』に対して、胃食道逆流に対する有効な防止策の項に下記の記載がある。

『消化管運動賦活剤については、本邦ではクエン酸モサプリド、六君子湯、メクロプラミド、エリスロマイシンなどがその薬理作用から用いられている。』